

おだか



南相馬市小高区4小学校
学校便り
第 30 号
2017. 12. 8

小高区4小学校体力・運動能力調査結果

1 調査内容

(1) 体力調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

(2) 生活習慣アンケート調査

2 調査結果

(1) 体力調査（県平均との比較）

＜各種目の数値について＞

○ 以下の種目については、ほとんどの学年が昨年度と同様に県の平均値より高い数値、もしくは同程度の数値でした。

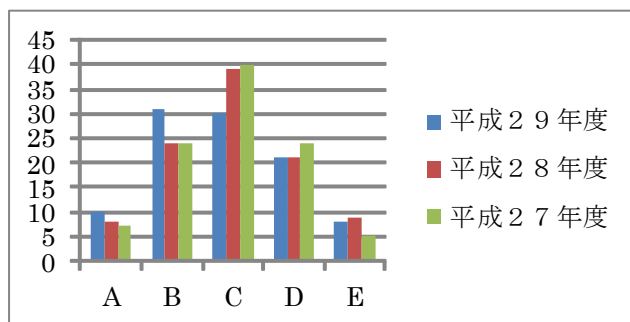
男子→長座体前屈 女子→上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳び

● 20mシャトルラン、50m走といった走力に関わる種目については、男女ともに県平均を下回る学年が多く、継続して体力づくりを進めていく必要を感じます。

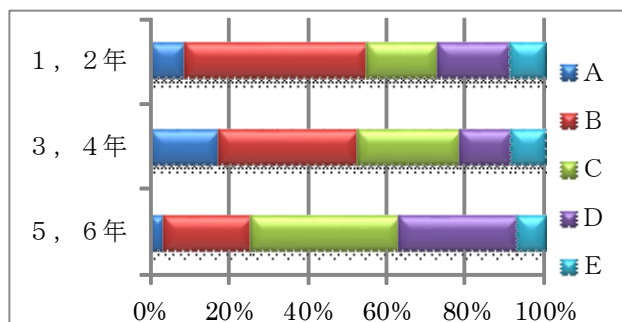
＜総合評価について＞

○ 資料1から、過去3年間で、次第にAとBの割合が増加し、CとDの割合が減少していることが分かります。よって、学校全体としては徐々に体力の向上が見られ始めていると考えられます。

● 資料2から、学年・ブロックによってはA評価が少なく、DとEの評価が多くなる傾向にあることが分かります。学校全体だけでなく、各学年でも実態に合った体力づくりを自校化し、共有していく取り組みが必要であると思われます。



資料1 総合評価の経年変化



資料2 学年・ブロック別総合評価

(2) 生活習慣アンケート調査

成果が見られた項目 ○体力に自信がありますか。

・ 80%以上の児童が「ある」または「ふつう」と回答したことから、自分の体力についての認識が徐々に前向きになっているように思われます。

課題が見られた項目 ●運動・スポーツの実施状況

・ 「週3日以上運動する」と回答した児童の割合が減っていることから、体を動かす習慣が十分に定着していないと考えられます。

3 体力向上の取り組み

- ・ 体育授業の充実
- ・ 運動身体づくりプログラムの継続
- ・ はりきりタイム（業間運動）の実施
- ・ 体育委員会主催のイベント実施
- ・ ふれあいタイムなど活動時間の拡大 → 外遊び等の奨励